

平成 30年 10月 / / 日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市萩原町築込字東古川 341-1

団体名 萬葉公園ほたるの会

代表者 職・氏名 会長 加藤正典

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	ホテルの観賞を通して、感動と癒しの提供		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 ○環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	175,200 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	262,800 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	262,800 円
当該事業によって得られる収入 (c)	0 円
支援金交付申請額※ 上限: 「(b) × 2 / 3」 または 「(a) - (c)」 のいずれか高くない方	175,200 円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	萬葉公園ほたるの会		
市内事務所の所在地	〒491-0374 一宮市萩原町築込字東古川 341-1		
代表者 職・氏名	会長 加藤正典		
設 立 年 月	平成 18 年	4 月	構成員の人数 50 人
U R L	http://		
連 絡 先 ※この申請に関する 問合せに対応でき る方	(担当者氏名) 加藤隆康		
	電 話	0586-68-2541	F A X 0586-68-2541
	E-mail	Si23.katota@utopia.ocn.ne.jp	
団 体 の 目 的	ホタルの飼育を通して、ホタルが生息出来る環境作りや、身近な自然環境を改善、保全、活用し、子供達と一緒に自然環境の大切さを再認識して、それを大切に守り育てて行くことを目的とする。		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの飼育活動 ・ホタルが生息出来る水辺環境の調査、研究活動 ・身近な環境改善活動 ・子供達への環境保全のPR、啓蒙活動 ・ホタル観賞来場者に対する、感動と癒しの提供 ・萩原小学校のホタル飼育活動への指導支援 		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なホタルの飼育活動 ・萩原小学校の児童や、子供会の児童に対するホタルの飼育指導や啓蒙活動 ・ホタル観賞の夕べ (ホタル舞う夕べ) の開催 ・ホタル観賞来場者に対する説明、PR活動 (感動と癒しを提供) ・萬葉公園築込ホタル園の環境整備活動 		
今 年 度 予 算 額	252,000 円	昨 年 度 決 算 額	197,948 円
条例第2条第3項に掲げる要件について	○すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称:) ・ ○無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

団体名	萬葉公園ほたるの会
事業の名称	ホタルの観賞を通して、感動と癒しの提供
事業の内容	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください) 平成31年4月1日 ~ 平成32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所 萬葉公園築込ホタル園、萩原小学校</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市民及び近隣周辺の市町村住民</p> <p>(4) 実施体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ホタル舞う夕べ」に付いて (6月初めの土曜日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の午後より、会員全員参加のもとに、会場の準備や夜の7時~9時迄の2時間、観賞来場者に対する説明や交通整理、安全注意を行う。 2. 日常の観賞に付いて (6月~7月の2ヶ月間) <ul style="list-style-type: none"> ・ 観賞来場者への対応は、毎晩、会員2名体制で対応し、ホタルの説明と合わせて、自然環境の大切さをPRする。 ・ 夜間の観賞の為、観賞順路を整え、危険箇所等の安全対策を行い、安全監視や交通整理など会員相互で役割分担を決めて行う。 3. ホタルの飼育に付いて <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育に専門的な知識と豊かな経験を持つ指導者の指導のもとに、平日は2人、日曜日は4人体制で会員の当番制で、ホタルの飼育に当たる。 4. ホタル園は、ホタルが生息しやすい様に、会員全員参加で年4回の草刈りや水辺回りのわら敷き・落ち葉対策等の環境整備を行う。 <p>(5) 具体的な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 6月の初めに「ホタル舞う夕べ」を開催し、広く市民の皆さんに乱舞するホタルの美しさを観賞し堪能してもらおう。 2. 6月中旬に萩原小学校の中庭の池(観察池)で、ホタルの観賞が出来る様に支援し、4月~翌3月迄、校内でのホタル飼育活動を指導援助する。 3. 6~7月の2ヶ月間、毎晩、観賞来場者に対し会員が説明に対応する。 4. 一年を通して飼育したホタルの幼虫を、4月と9月の2回捕捉選別する。4月に捕捉した幼虫をホタル園に放流する。 5. ホタル園の自然環境改善、保全の為、定期的に草刈や藁敷き、水苔の植え付け等の環境整備を行う。 6. 餌のタニシを定期的に、川や水路で採集して、その一部を飼育に廻し、残りをホタル幼虫飼育箱やホタル園に投与する。 7. ホタルの飼育に対して先進的に取り組んでいる地域団体を訪問して、先進技術を吸収し飼育設備等の改善改良を行う。又、年々、飼育幼虫数が減少悪化しており、原点に戻って飼育方法を見直し再起復活を図る。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月1回開催の定例会議で、ホタルの生育状態や日常管理で確認した問題点等について協議を行い、作業改善を行っている。 2. 観賞来場者に対する説明や安全対策、環境の整備、萩原小学校の指導支援その他、すべて、定例会議の場で協議して進めている。 3. 数年前より飼育幼虫数の減少悪化が続いており、飼育方法の見直しや飼育設備の改善を継続して行っている。幼虫飼育に成功している地域団体等を視察勉強して、飼育方法や飼育設備等を早期に確定出来るようにして復活を図る。又、ホタル園の改修整備を定期的に行い自生を目指す。 	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境の大切さがなおざりになり、身近な自然環境が破壊されている現在の社会において、ホタル等が生息出来る様に、身近な自然環境を改善、保全をして、ホタルが乱舞する光景を観賞することにより、感動し心が癒されることで、自然環境の大切さを肌で感じ取ることが出来る。そして、その自然環境の大切さを分かち合い広く市民に伝え広げて行く。 2. 自分たちの身近な生活環境が悪化している状況に対し、地域住民がこれを実感する手段がなく、自然に対する関心が高まらないといった課題がある。 3. 自然環境の大切さを認識して、それを大切に守り育てて行くと共に、飼育したホタルの幼虫を、子供会等の児童の手でホタル園に放流して、観賞来場者に対して、感動と癒しの場を提供することにより、少なからず地域社会に貢献できる。 4. 萩原小学校と協力して、校内で有志児童によるホタルの飼育活動を指導援助して、校内の観察池でホタルの観賞が出来る様に支援することで、児童に生き物を育てる優しい心を植付けることが出来て、健全な児童育成の一助となる。 	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホタルの飼育活動を通して、自然環境の大切さを近隣周辺地域の住民に再認識してもらい広めることが出来るが、対象者が広く、受益者負担を求める事が困難である。 2. ホタルの光は癒しの光とも言われており、観賞来場者に、感動と癒しの場を提供するもので、場所が解放された公共公園の一角にあり、対象者が不特定多数で、夜間の来場でもあり、物理的に受益者負担は難しい。 3. 萩原小学校のホタル飼育活動に付いては、健全な児童育成の一助となるもので、児童に対して費用負担は求められない。 4. ホタルの飼育活動、観賞を通して、地域住民や子供たちが自然に対して考えるきっかけにつながり、地域社会に貢献できることから事業を実施する必要性はある。 	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>4月</p> <p>6月</p> <p>6月～7月</p> <p>9月</p> <p>4月～翌3月</p> <p>4月～翌3月</p>	<p>内 容</p> <p>幼虫の捕捉選別、ホタル園へ放流（子供会・萩小児童参加）</p> <p>ホタル観賞会の開催（ホタル舞うタベ）</p> <p>ホタル観賞来場者への説明PR</p> <p>幼虫の捕捉選別（子供会・萩小児童参加）</p> <p>ホタルの飼育とホタルが生息できる環境の整備</p> <p>萩原小学校児童への飼育指導、啓蒙活動</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。
備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団体名 萬葉公園ほたるの会

事業の名称 ホテルの観賞を通して、感動と癒しの提供

収入

科目	金額（円）	内 訳
一宮市支援金	175,200	
事業収入	0	
自主財源	87,600	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他（ ）
計	262,800	

支出

科目	金額（円）	左記のうち 支援金算出額（円）
報償費		
旅費	12,000	12,000
印刷製本、消耗品費	136,800	136,800
食糧費		
通信費、手数料	6,000	6,000
備品費		
人件費	108,000	108,000
使用料、賃借料		
その他		
計	262,800	262,800

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費		
旅費	12,000	タニ取りガソリン代 20円×30km×10回×2台=12,000円
	12,000	
印刷製本、 消耗品費	136,800	飼育用部材部品類 手袋、タモ、エアホース、エアストーン他=26,000円 飼育箱及び飼育箱改良部材部品類 角材、配管材料類他=18,000円 飼育箱類他=12,000円 ホタル園防風・遮光・落ち葉対策 単管類=29,000円 ネット類=26,000円 支柱・ロープ類=7,800円 資料コピー代、印材代等=18,000円
	136,800	
食糧費		
通信費、 手数料	6,000	ホランテア保険料 200円×30人=6,000円
	6,000	
備品費※2		
人件費	108,000	「ホタル舞うタベ」当日のスタッフ手当(2h) 900円×2h×30人=54,000円
	108,000	観賞来場者への安全監視スタッフ手当(1h) 900円×1h×2人×30日=54,000円
使用料、 賃借料		
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを()書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。